

東海市地域安全推進協議会会議録

会議の名称 令和7年度（2025年度）第1回東海市地域安全推進協議会

会議の種別 公開

開催日時 令和7年（2025年）6月30日（月）
午後2時から午後3時まで

開催場所 市役所302会議室

出席委員 服部幹史（会長）、高木眞子（副会長）、
長谷川一己、小島晴美、北村智春、磯部秀人、谷村志浦、
鯉江美穂、小野宗雄、竹村昇、内山直隆、阪田華子、河村善子

欠席委員 中川芳郎、米満淳二、香村茂、蘆田美絵、山下知夏

事務局 総務部長、危機管理監、交通防犯課長、
交通防犯課統括主任、同主任、同主事

傍聴人の数 0人

公開、非公開の別 公開

会議の概要

1 開会のことば

2 市民憲章唱和

3 委員紹介

4 協議・報告事項

(1) 東海市地域安全活動行動計画の成果指標の推移について

事務局による資料1、2の説明

(2) 令和7年度（2025年度）地域安全活動の重点施策及び主な事業

事務局による資料3の説明

（副会長）こども110番の家の目印が小さいのではないかと。

（生活安全課長）以前に配布していた掲出看板は小さかったが、現在は立体的
になっており、大きくなっている。

（会 長）新しい看板を一斉に配布等はしていないのか。

（生活安全課長）破損した際等には交換を行っているが、新しい看板に仕様変
更となった際に一斉交換は行っていない。大きさやデザイン
については、県下統一様式となっている。

（委 員）各家庭における防犯対策として挙げられている、防犯用具とはどの

ようなものを指すのか。

(事務局) 防犯カメラや屋外用センサーライト等、住宅侵入盗対策に資するものを指しており、広報等で案内をしている。

(委員) 防犯カメラ等は単価も高いと思うので、防犯用具購入費の上限額をあげても良いと思う。

(3) 令和7年度(2025年度)1月から5月までの犯罪発生状況について
事務局による資料4・5の説明

東海警察署生活安全課長より最近の犯罪に関する傾向についての説明

(生活安全課長) 東海警察署管内の犯罪件数は高止まり傾向にある。特殊詐欺は大幅に増加しており、愛知県の被害件数は全国でワースト5。東海警察署管内では二億六千万円の被害額となっており、県下ワースト1となった。

令和7年については、空き巣被害が増加しており、侵入盗で増加した件数は9件すべて空き巣である。自動車盗についてはランドクルーザーやレクサスといった特定車種が狙われがち。渡内校区で発生した4件の自動車盗も全台ランドクルーザーであった。自転車盗については、無施錠のものが多く、自宅に駐車する際にも施錠をするよう呼び掛けている。特殊詐欺については、警察官騙りのオレオレ詐欺が増加しており、以前は高齢者が狙われがちだったところを、20代の被害も増加している。逮捕状の画像を見せ、言葉巧みにお金を振り込ませる手法。逮捕状には被害者の氏名が記載されており、犯人は何らかの手段で被害者の個人情報事前に入手しており、電話に出ってしまった時点で既に犯人の手の内となる。電話に出ってしまった際には、お金の話が出た時点で電話を切り、自ら警察署に確認の連絡を入れる等の対策を講じて欲しい。

(副会長) 一人暮らしの人が詐欺被害に遭いやすいのか。

(生活安全課長) 誰かに相談をすることが出来ず、被害に遭うことも多い。

(会長) 空き巣対策として、防犯カメラは有効か。

(生活安全課長) 最近はスマートフォンと連動しているカメラも一万円台から販売されており、効果的であると思う。

5 閉会のことば